

神奈川県葉山町と友好都市協定を締結

御用邸がつなぐ縁 両町の交流と発展を



全国に3カ所ある御用邸のうち、那須御用邸を有する当町と葉山御用邸を有する神奈川県葉山町は5月8日、那須町役場で友好都市協定を結びました。平山幸宏町長と山梨崇仁（やまなし）たかひと葉山町長が同協定書に署名し、両町の交流と発展に互いに協力することを確認しました。当町としては、茨城県大洗町、福島県会津美里町に続き3つ目の友好都市協定となります。

これまでの経緯

「御用邸がある町として友好関係を築きたい」という葉山町議会議員有志の提案がきっかけになり、平成24年から5回にわたり双方の議員が両町を訪問し、まちづくりに対する意見交換や議会改革などの情報交換をしてきました。また、両町長は、互いの資源を生かした交流によって両町の活性化につなげたいとの考えや、大規模災害時における協力体制の構築に力を入れる姿勢を共有し、表敬訪問やオンライン懇談を重ねてきました。

葉山町ってどんな町？

▼概況

東京都心から約50km、三浦半島西北部の丘陵地域で、北は逗子市に、南と東は横須賀市に接してい

ます。相模湾沿岸の西部や逗子市方面の北部を中心に市街地が広がり、東部は山林が多く残ります。南北4kmの葉山海岸は、砂浜と岩場が交互に連なる美しい景観で、3つの海水浴場とマリナーが整備され、海水浴や磯遊び、ヨットやボート、ウインドサーフィンなどのマリンスポーツの町として広く親しまれています。日本のヨット発祥の地としても知られています。

- ▼町の花 つつじ
- ▼町の鳥 うぐいす
- ▼町の木 くるまつ
- ▼面積 17.04km²
- ▼人口・世帯数

合計 32,961人
 男 15,609人
 女 17,352人
 世帯 14,618世帯

(令和3年4月1日現在)

拡大図



○御用邸とともに歩む町の誇りと葉山に住む人々の心を歌う「葉山町歌」の3番をご紹介します。

▼葉山町歌(3番)

町のまほろば一色に
 宮居しずまる御用邸
 町の誇りと町びとの
 ふりさけ仰ぐ松の空
 人うつくしき葉山かな
 夢ゆたかなる葉山かな

*第四次葉山町総合計画後期基本計画、葉山町ホームページをもとに掲載。



友好都市協定書

神奈川県葉山町と栃木県那須町は、御用邸が所在する自治体として、産業、経済、観光、文化、教育、防災など幅広い分野における交流を通じて、相互の信頼と理解を深め、これまでの友好関係をさらに推進するため、友好都市協定を締結します。

令和3年5月8日

神奈川県
葉山町長

栃木県
那須町長

山梨 崇仁

平山 幸宏

友好都市協定締結式

締結式には、両町長のほか、池澤昇秋町議会議長、葉山町の伊東圭介議会議長、来賓として宮内庁那須御用邸管理事務所の佐藤時仁所長が出席しました。

両町長は協定書に署名し、産業・経済、観光、文化、教育、防災など幅広い分野での交流を通じ、相互の信頼と理解を深め、友好関係をさらに推進していくことを確認しました。

この協定に基づき、今後、政策等の情報交換と質の向上に向けた研さん、災害時の相互連携と支援観光・スポーツ・文化などの分野での相互連携、子どもたちの海・山体験交流事業などを予定しています。

平山幸宏 那須町長



友好都市協定の締結ができたこと、大変うれしく喜びに堪えません。

御用邸が所在する自治体として、これまで相互に交流を続けてまいりました。現存する御用邸として葉山御用邸は明治27年から、那須御用邸は大正15年から所在し、私

たちは御用邸とともに歴史を歩んできました。

葉山町は温暖な気候で、マリンスポーツが盛んだとお聞きしております。那須町では、平成23年に当時の明仁天皇陛下のご意向により御用邸敷地の約半分にあたる約570ヘクタールが一般開放され、「那須平成の森」が開園しました。海と山、その違いを生かしながら観光・物産面も含め、教育・文化・経済など、さまざまな分野で交流を深め、信頼を築き、夢ある未来へとつなげていきたいと考えております。

山梨崇仁 葉山町長



御用邸とともに発展してきた歴史を共有する那須町と友好都市の協定を結べますこと、議会や関係者の皆さまに感謝申し上げます。御用邸、そして別荘文化がある町というのは、過ごしやすく、安らぎの空間が提供できる素晴らしい

環境がある町だと考えています。行政としてこれを守っていくこと、将来へつないでいくこと、また町民の皆さんがここに住むことを誇りに思ってもらえたら良いと思っております。

そのために、この友好都市というつながりを基本として、お互いの町の良いところを交換しながら子どもたちの交流やスポーツ・文化を通じた交流を重ねて、お互いを高め合っている関係が築けたら、また、同じく御用邸を有する下田市とも1市2町の連携ができれば良いなと思っております。

協定締結のメリット

友好都市協定を締結することにより、次のようなメリットが考えられます。

- 交流をさらに深め、相互協力を進化させることにより、さらなる交流人口の増加が期待できます。
- 災害時の相互支援により迅速な災害復興を図ることができます。
- 両町の特産物等の販売促進による産業振興を図ることができます。
- 教育、文化、スポーツなどの多角的な交流を通じ、町民生活に潤いを与え、町民生活を豊かにすることが出来ます。



(左から)池澤議長、平山町長、葉山町の山梨崇仁町長、同町議会の伊東圭介議長